

2交代制、夜間は昼間の2/3程度の人員を想定

<事務局長:危機管理監、次長:防災監>

総括調整グループ (担当) ・総括調整担当 ・本部会議担当	12名	グループ長 防災消防企画課長 (業務内容) 災害対策本部の設置及び廃止 災害応急対策の企画、立案、全体調整及び進行管理 政府現地対策本部、関西広域連合との連絡調整 市町村業務の支援、市町村相互応援の調整 本部会議の運営	副グループ長 計画担当課長(原子力防災課)
総務グループ (担当) ・総務担当 ・記録担当	10名	グループ長 原子力防災課長 (業務内容) 要員の運用及び活動支援、職員の勤務管理 国、関西広域連合、他都道府県職員等の受入 大臣や国会議員等の被災地調査への対応 災害派遣従事車両証明書の発行 災害救助法、被災者生活再建支援法の適用 府民からの相談等への対応 災害対策本部の活動状況の記録	副グループ長 府民防災担当副課長(防災消防企画課)
情報グループ (担当) ・防災情報システム担当 ・情報収集・集計担当 ・情報分析担当	20名	グループ長 被災地応援担当課長(原子力防災課) (業務内容) 地震・津波情報、気象情報等の受領、伝達 防災行政無線等の管理及び運用 防災関連システム等の管理及び運用 被害状況・応急対策状況等に関する情報の収集、整理、記録 被害とりまとめ報の作成 SNSによる情報収集・分析、被害状況・応急対策状況に係る地図作成	副グループ長 情報担当副課長(防災消防企画課)
物資・輸送グループ (担当) ・物資・輸送担当	12名	グループ長 地域防災担当課長(防災消防企画課) (業務内容) 物資の調達及び供給 救援物資の輸送調整 物資拠点(府・市町村)に係る調整・指定	副グループ長 災害対策課副課長(災害対策課)
応急対策グループ (担当) ・応急活動担当 (消防応援活動調整本部) ・産業保安担当	15名	グループ長 災害対策課長 (業務内容) 自衛隊、緊急消防援助隊、海上保安本部等の派遣要請、受入・活動調整及び撤収要請 災害時応援協定に基づく要請・活動調整 孤立集落の支援に関する活動調整 広域防災活動拠点の運用(物資を除く) その他の応急対策 火薬類、高圧ガス施設等の応急対策	副グループ長 産業保安担当課長(災害対策課)
ライフライン対応グループ (担当) ・ライフライン対応担当 ・京都BCP担当	7名	グループ長 調整・計画担当副課長(防災消防企画課) (業務内容) ライフライン機関との連絡調整・情報収集 ライフラインの応急復旧調整 燃料の確保 京都BCP経済団体等との連絡調整・情報共有	副グループ長 産業保安担当副課長(災害対策課)
航空運用調整グループ (担当) ・航空運用調整担当 (航空運用調整班)	7名	グループ長 訓練指導担当課長(災害対策課) (業務内容) ヘリコプターの運用調整	副グループ長 原子力担当副課長(原子力防災課)

合計:85名

- 防災部局職員 約40名
- 非常時専任職員 1号(部局調整業務):約10名
2号(初動業務)本庁:約70名